

# リハビリテーション治療学特講

[講義] 第1学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 中川賀嗣 poverame@hoku-iryo-u.ac.jp 田村至 黒崎芳子

## 【概要】

高次脳機能障害とそのリハビリテーションについての学際的知見について学ぶ。

## 【学修目標】

一般目標 高次脳機能障害研究の現状を理解する。

行動目標 高次脳機能障害の各症状に対するリハビリテーションを理論に基づいて実施できる。

## 【学修内容】

| 回             | テーマ                                     | 授業内容および学修課題  | 担当者  |
|---------------|---|--|------|
| 1<br>)<br>5   | 高次脳機能障害研究の現状                            | 高次脳機能障害研究の現状についての基礎的知識を総括する(失語、失認、失行や前頭葉機能障害、記憶障害、脳梁損傷ほか)。               | 中川賀嗣 |
| 6<br>)<br>10  | 高次脳機能障害(認知症、前頭葉機能障害など)にかかわるリハビリテーション    | 脳血管障害、神経疾患による高次脳機能障害(認知症、前頭葉機能障害など)について文献研究を行う。                          | 田村至  |
| 11<br>)<br>15 | 失語・高次脳機能障害(記憶障害、前頭葉機能障害など)に関わるリハビリテーション | 失語・高次脳機能障害領域の、とくに記憶障害、前頭葉機能障害などに注目し、リハビリテーションの研究動向およびその成果について文献調査などから学ぶ。 | 黒崎芳子 |

## 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

講義でなされる討論の結果に基づく(討論の内容50%、作成資料の内容50%)

## 【教科書】

高次脳機能障害に関する学術雑誌の内容に基づいて行う。

## 【学修の準備】

予習

文献の読み込み等を十分に行う(60分)

復習

各高次脳機能障害の特徴をケースレポートなどから判別できるように復習する(100分)

## 【実務経験】

田村至(言語聴覚士)

黒崎芳子(言語聴覚士)

中川賀嗣(医師)

## 【実務経験を活かした教育内容】

臨床経験に基づく講義を行う。